介護知識　嚥下

摂食・嚥下の基礎知識

日　程　平成30年6月18日（月）　（10:00～16:00）

対象者　介護福祉関係者及び興味のある方　　推奨職員：（初級～中級 ・介護職）

料　金　会員（法人・個人）8，000円　・　一般10，000円

会　場　ウィリング横浜（横浜市港南区上大岡西1－6－1 オフィスタワー内）
京浜急行・横浜市営地下鉄「上大岡駅」徒歩３分

「その人らしい人生」を食事という側面から支援する。
嚥下障害は、誤嚥性肺炎など命の危険につながるだけでなく、「食事」という人生における大きな楽しみを奪うことにつながりかねません。楽しく、最後まで食事をするためには、介護者の摂食嚥下に関する基礎的な理解に裏付けられた食事支援技術が必要不可欠です。本研修では、摂食嚥下の仕組みを理解し、自力摂取から重度の介助摂取に至るまで、利用者の方が食事を楽しく安全に召し上がれる支援技術について学びます。

【　講　　師　】

目白大学　保健医療学部　専任講師　　佐藤　彰紘（作業療法士）

山梨大学大学院医学工学総合教育部卒業（医科学修士）。日本摂食嚥下リハビリテーション学会会員。山梨在住時に歯科医師や言語聴覚士、管理栄養士らとともに「摂食嚥下さぽーとやまなし」の発起人として、研修会の企画・実施、近隣施設への訪問指導などを行う。現在は摂食嚥下リハビリに関する種々研修会で講師を務めるとともに、「介護スタッフが現場で行える食事支援」をモットーに指導を行い、高齢者施設での肺炎入院者数を１／３まで減らすことにも成功している。

≪カリキュラム≫

◆食事支援概論
・日本の常識は世界の非常識？
◆摂食・嚥下のメカニズム
・正常なメカニズムを学ぶ
・誤嚥を知る
◆誤嚥を防ぐ食事支援
・自力摂取の食事支援（姿勢，道具）
・介助摂取の食事支援
（姿勢，道具，介助方法）
・誤嚥を防ぐ食形態を学ぶ
・アセスメントの視点と対応
◆口腔ケアの意義を学ぶ
・食前の口腔ケアとは？
・食後の口腔ケアとは？

法人名	※会員の方は必ず法人名をご記入下さい。
事業所名	
会員種別	（　　）会員　（　　）個人会員　（　　）一般
個人会員番号	

（公社）かながわ福祉サービス振興会（教育事業課）行
FAX：045－671－0295
TEL：045-210-0788
〒231-0023横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル9階

連絡先	〈住所〉〒　　－ （ 自 宅 ・ 法 人 ・事業所 ）	
	〈mail〉	＠
	〈電　話〉　　－　　－	〈ファックス〉　　－　　－
法人サービス詳細	① 特別養護老人ホーム ② 介護老人保健施設 ③ 介護付有料老人ホーム ④グループホーム ⑤ 病院 ⑥ 訪問介護 ⑦ 通所介護 ⑧ 居宅介護支援 ⑨ 障害関係（　　）⑩ その他のサービス（　　）	

＜参　加　者　名　簿＞　　お申込合計人数（　　名）

No.	フリガナ 氏　　名	性別	ご職業	経験年数	①参加費
1		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー ⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者 ⑧その他（　　）	年	1.会員(¥ 8,000) 2.個人会員(¥ 8,000) 3.一般(¥ 10,000)
2		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー ⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者 ⑧その他（　　）	年	1.会員(¥ 8,000) 2.個人会員(¥ 8,000) 3.一般(¥ 10,000)
3		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー ⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者 ⑧その他（　　）	年	1.会員(¥ 8,000) 2.個人会員(¥ 8,000) 3.一般(¥ 10,000)
連絡事項					